

## シール・ラベル用粘着製品の新製品を相次いで発売

## 再生PETフィルムを使用したアルミ蒸着タイプのラベル素材を発売

使用済みペットボトルを粉碎・洗浄し、除染処理などを施して生成されるPET樹脂でつくられた再生PETフィルム。当社では、このフィルムを表面基材に採用した透明タイプのラベル素材を2015年に発売しています。

国内外で高い評価を得たこのラベル素材の新アイテムとして、このたびシルバーの光沢感を付与したアルミ蒸着タイプのラベル素材を開発。透明タイプと同様、再生PET樹脂を世界最高水準となる80%以上使用しています。昨今高まりつつある環境配慮製品へのニーズに応える高品位なラベル素材として、日用品などを店頭で目立たせるために貼るPOP・アイキャッチラベル用途を中心に拡販に努めていきます。



再生PETフィルムを使用したアルミ蒸着タイプのラベル素材



シルバーの光沢感を付与

## 耐久性に優れた海上輸送用ラベル素材を発売

化学薬品などをドラム缶に入れて海上輸送する際、内容物の識別や取り扱いに関する警告用のラベルには、万一、海難事故が発生した場合に備え、海水や砂などにさらされても剥がれないことや、印字が消えないことが求められます。

このたび当社では、海水に3か月間浸しても強い粘着力を保持し、優れた耐摩耗性も実現した海上輸送用ラベル素材を開発。厳しい耐久性試験をクリアしており、海上輸送時に使用するラベルの耐久性に関する基準として欧米で標準規格となっている「BS\*5609」の認証を取得しています。

\*BS: British Standards (英国規格)の略称。英国規格協会によって制定された国家規格



内容物をしっかりと表示し、海上輸送物の適切な管理に貢献

上記以外にも、剥がした際に開封済みを意味する「VOID」の文字がラベル面にのみ浮き出て、対象物には文字が残らない非転着タイプの改ざん防止用ラベル素材の新色（青色・赤色）を発売。これからも、市場ニーズに合わせた付加価値の高いシール・ラベル用粘着製品の開発・拡販に注力していきます。

# くつつく技術で 未来を創る

LINKING YOUR DREAMS

世の中にあふれるたくさんの夢を、くつつく技術でつなぎ合わせてカタチにする。企業ブランドスローガン“Linking your dreams”に込めた思いや当社の多彩な製品を“創作漢字”で表現した新聞広告シリーズです。

【掲載紙】日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報

リンテック創作漢字

# 壁彩

オリジナルデザインの壁紙で  
空間に彩りを  
詳しくは [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

くつつく技術で  
未来を創る **リンテック株式会社**

## 7月

当社ではオリジナルの装飾模様をはじめ、イラストや写真などを大判インクジェットプリンタで出力できるデジタルプリント壁紙を展開しています。商業施設から一般住宅まで目的に合わせたインテリア素材で「壁」面を自在に「彩」ります。

リンテック創作漢字

# 車涼

日差しをカットして  
車内を涼しくするフィルム  
詳しくは [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

くつつく技術で  
未来を創る **リンテック株式会社**

## 8月

夏場の天気の良い日のドライブは楽しいものですが、ジリジリする日差しが気になります。当社の自動車用ウインドーフィルムは、窓ガラスに貼ることで太陽光の熱エネルギーを大幅に遮り、温度上昇を抑えて「車」内を「涼」しく、快適に保ちます。

リンテック創作漢字

# 面護

傷や汚れからスマホの画面を  
保護するフィルム  
詳しくは [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

くつつく技術で  
未来を創る **リンテック株式会社**

## 9月

当社では、スマホやカーナビのディスプレイを構成するフィルム部材の表面に、傷をつきにくくしたり、指紋などの汚れを拭き取りやすくするための高精密なコーティング加工を施すことで、画「面」の保「護」に貢献しています。

### 当広告シリーズのコンセプト

当広告シリーズに登場する文字は、当社が得意とする「くつつく技術」の発想から、二つの漢字やその一部を組み合わせた“創作漢字”で、読み方は特に決めておりません。ユニークな発想から生みだされた漢字を通じて、当社の製品や技術をより身近に感じていただければと思います。

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	169,710	173,593
固定資産	115,550	119,139
① 資産合計	285,261	292,733
流動負債	74,468	77,849
固定負債	27,512	28,463
② 負債合計	101,980	106,312
③ 純資産合計	183,280	186,420
負債純資産合計	285,261	292,733

### 四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間
④ 売上高	61,917	60,705
売上総利益	15,897	15,469
販売費及び 一般管理費	10,803	10,508
⑤ 営業利益	5,094	4,960
経常利益	5,269	4,798
税金等調整前 四半期純利益	5,269	4,215
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,881	2,715
四半期包括利益	△768	1,109

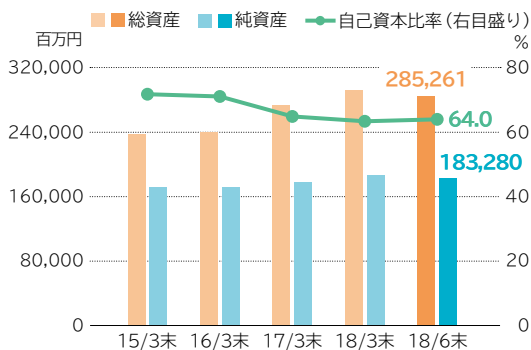
### □ポイント!

- ① 資産合計 現金及び預金、受取手形及び売掛金、のれんが減少したことなどにより、総資産は74億72百万円減少しました。
- ② 負債合計 支払手形及び買掛金、未払法人税等、長期借入金が減少したことなどにより、負債は43億31百万円減少しました。
- ③ 純資産合計 利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、純資産は31億40百万円減少しました。
- ④ 売上高 印刷・情報材事業部門が円高による目減り影響を受けて減少しましたが、アドバンストマテリアルズ事業部門が好調だったことなどにより、売上高は12億12百万円増加しました。
- ⑤ 営業利益 原燃料価格の上昇や固定費の増加がありましたが、米国会社の収益改善などにより、営業利益は1億33百万円増加しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益 前年同期に米国会社において事業構造改善引当金繰入額9億25百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億65百万円増加しました。

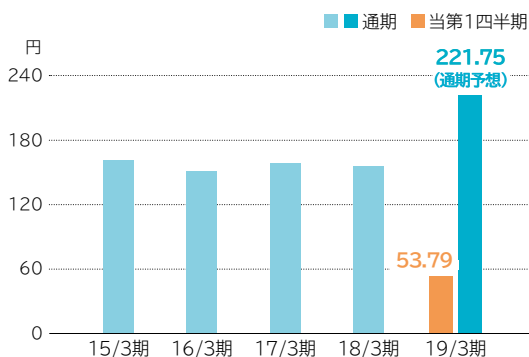
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	4,383	3,218
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,699	△1,950
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,048	△2,565
現金及び現金同等物の 四半期末残高	51,829	40,006

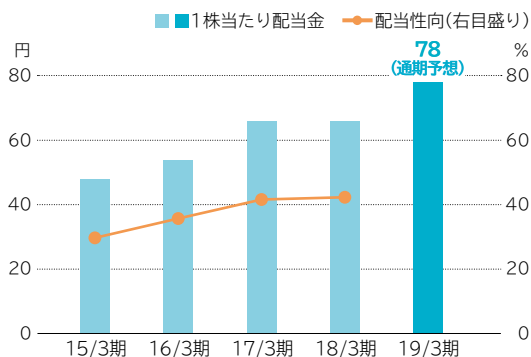
## 総資産・純資産・自己資本比率



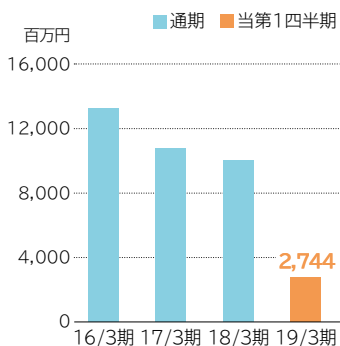
## 1株当たり四半期(当期)純利益



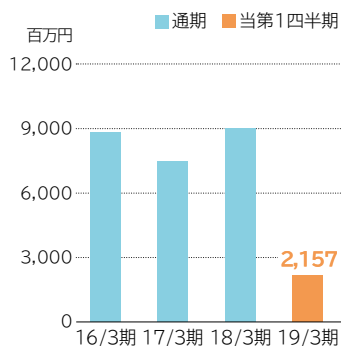
## 1株当たり配当金・配当性向



## 設備投資額



## 減価償却費



## 研究開発費

